

## 臨床研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある患者様で、個人が識別される診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、以下の連絡先にお問い合わせください。同意されない場合でも、診療上の不利益が生じることは一切ありません。

### ■ 研究の対象期間と対象となる患者様

2025年6月01日～2025年10月31日に当院で骨髄穿刺液検査を受けられた患者様を対象としています。

### ■ 研究課題名

「形質細胞の表面蛋白である G 蛋白質共役型受容体ファミリーC グループ 5 メンバーD(GPRC5D)の発現量と多発性骨髄腫の予後に関する分析」

### ■ 当院の研究責任者(所属)

大塚 喜人(臨床検査管理部)

### ■ 当院の試料・情報の管理責任者(所属)

大塚 喜人(臨床検査管理部)

### ■ 本研究の目的・方法・研究実施期間

目的)多発性骨髄腫は、血液中の形質細胞という細胞ががん化して増える病気です。この病気は長い時間をかけて再発を繰り返しながら進行する特徴があり、より効果的な新薬の研究が続けられています。悪性細胞には、特徴となる蛋白質(GPRC5D)が存在しており、治療薬はその蛋白質に結合し、悪性細胞を破壊へと導きます。しかし、国内ではこの蛋白質と悪性細胞との関係性において、病気が急に悪化する可能性があるのか、もしくは薬がしっかり効くのかなど明らかになっていないことがあります。そのため、当院で多発性骨髄腫と診断された患者様の検査データを使用して、悪性細胞を持っている蛋白質の量、治療効果、予後との関係性を明らかにします。

方法)病気の特徴を調べるにはたくさんの患者様の詳細な情報が必要です。病気の診断や治療のために行った血液、尿および骨髄穿刺液の検査データや治療経過などを使用します。悪性細胞が有する特徴や予後予測が可能な検査データなどを比較し、関連性を調査します。

研究実施期間:2025年12月4日～2027年12月31日

### ■ 研究に用いる試料・情報の項目

- ・患者様の情報として、年齢、性別、現病歴、既往歴、合併症、治療歴を研究に用います。
- ・臨床検査の情報として、白血球、赤血球、血小板、血清  $\beta$  2 ミクログロブリン、LD(LDH:乳酸脱水素

酵素)、アルブミン、クレアチニン(Cre)、免疫グロブリン(IgG、IgM、IgA、IgD)、免疫グロブリン遊離軽鎖(フリーライトチェーン)、免疫固定法、骨髄像検査、骨髄細胞免疫形質(フローサイトメトリー検査)、染色体 FISH 検査を研究に用います。

■ 他の研究機関への提供・提供方法

他の研究機関への試料・情報の提供はありません。

■ 個人情報の取扱い

研究で利用する情報から、患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

■ お問い合わせ先

担当者(所属):大塚 喜人(臨床検査管理部)

電話:04-7092-2211(93095)